



## コウノトリ絵本「みえとコウノトリ」の発刊

コウノトリ野生復帰を題材にしたファンタジー絵本「みえとコウノトリ」が発刊された。



### 文 池田 啓 (いけだ ひろし)

兵庫県立大学教授。兵庫県立コウノトリの郷公園  
研究部長。1950年山口県生まれ。1973年九州大  
学理学部生物学科卒業、1979年九州大学大学院  
理学研究科博士課程修了、理学博士。1984年文化  
庁文化財調査官、天然記念物の指定や保護を担  
当。1999年より現職。コウノトリの野生復帰事業  
を推進する。専門は動物生態学、保全生物学。著  
書に『但馬のこうのとり』(共著・但馬文化協会)、  
『哺乳類の生態学』(共著・東京大学出版会)、『タ  
ヌキはぼくのたからもの』(ポプラ社)など。監修書  
に『週刊日本の天然記念物』(総監修・小学館)、  
『みんなの環境学習実践集』(岩崎書店)など。

### 絵 永田 萌 (ながた もえ)

色彩豊かな作風と独特の技法で「カラーインク  
の魔術師」と呼ばれる。花と妖精をテーマにしたファン  
タジックな作品で知られ、絵本の挿画からコマー  
シャルアートまで、手がける分野は幅広い。1987  
年に『花待月(はなまちづき)』(樹成社)でポ  
ローニャ国際児童図書展青少年部門グラフィック  
章受賞。絵本、画集、エッセイなど出版物は130冊余。  
近著に『聖書のおはなし』(AVACCO)『お母さんの  
たからもの』(理論社)などがある。京都市在住。

むかし、ほくたちは  
こうして自由に空をとんで、

# 人間となかよく

くらしていたんだよ。

2010年は国際生物多様性年

鳴けないコウノトリの「声」に耳をかたむけた女の子が始めた取り組みとは…?

出版元：フレーベル館

文：池田 啓 (いけだ・ひろし) 兵庫県立コウノトリの郷公園参与

絵：永田 萌 (ながた・もえ) 絵本作家・イラストレーター

- ・淡路花博公式ポスターとマスコットキャラクター「ユメハッチ」を手がける(2000年)
- ・ふるさと切手「コウノトリ野生復帰」を手がける(2005年)



## あらすじ

みえは小学校3年生、ひっこみじあんな女の子。鳴き声を失ったコウノトリの伝説を先生から聞き、ちょっと苦手だったコウノトリに目を向けてみる。

「赤ちゃんが生まれたんだ」 鳴けないコウノトリの『声』を聞いたみえは、「コウノトリがやってくるような田んぼをつくりたい」と勇気を振り絞ってクラスみんなに提案する。

みえのおじいちゃんの指導で、さっそく田んぼづくりがはじまった。生きものにあふれる田んぼにはすぐにコウノトリがやってきて、みんなもおおよろこび。

その夜、みえは不思議な夢をみた。コウノトリがお礼にと背中に乗せてくれ、いっしょに大空を舞う。

「むかし、ぼくたちはこうして自由に空をとんで、人間となかよくくらしていたんだよ」

眼下に広がる美しいふるさとを大切にしたい、生きものと仲良く暮らしたい、みえはそう心に誓う。

## 絵本仕様等

本 編 29ページ

解 説 「豊岡とコウノトリ」4ページ

英 訳 本編英訳(4ページ) + 解説文英訳(2ページ) 計39ページ

価 格 1,300円 + 税

## 市の活用方策

- ・平成21年9月補正において、購入費用2,250千円を予算化している。
- ・2,000冊を購入し、市内小学校等への配備など域内に向けた情報発信や、国際生物多様性年の各種事業に際しての豊岡のアピールなど域外に向けた情報発信等に有効活用する。

## その他

- ・フレーベル館では、初版で5,000冊を出版され、500冊を図書館流通センターへ、2,000冊を豊岡市へ、2,500冊を一般市場へ配本される。
- ・4月1日から、コウノトリ本舗、城崎文芸館で販売する。市内の書店でも販売される。

〔問合せ〕豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課 0796 - 21 - 9017